



小田中学校の皆さんへ（学校再開にあたって）

令和2年6月1日

校長 池田ゆかり

日本は、多くの方々の力で緊急事態宣言が解除され、感染収束に向かっており、今日から皆さんと顔を合わせて授業ができるようになりました。ただ、二次感染、三次感染が必ず発生することが十分に予測されることから、今後も決して油断せず、生徒の皆さん一人一人が手洗いやマスク着用など感染予防に努めてほしいと思います。

世界ではまだまだ新型コロナウイルス感染が拡大している国が多くあり、5月26日現在、世界全体で感染者は547万人、感染死者は34万人を超えています。世界に目を向けると未だ感染拡大が続いているのです。

私たちの小田中学校では、校外行事や運動会などの行事の日にちを変更したり、教室の授業ではお互いの間隔をあけたり、皆さんが帰宅したあとで教室などの消毒をしたりと、感染防止に努めます。

今、世界で、もちろん日本でも、新型コロナウイルス感染症の対策や治療に全力で取り組んでいただいている医療従事者の方々や、社会生活を守るため、そして、私たちの命を守るために必死で働いておられる方々がいらっしゃいます。その方々にみんなで心から感謝しなければなりません。

一方で、みんなのために働いている方々や、コロナウイルスに感染してしまった方々への偏見や差別が、全国各地で起きています。先の見えない不安や恐怖が、差別や偏見を生み出すのです。次の感染拡大の時には、私たち自身が感染してもおかしくない状況にあります。差別や偏見につながる行為は絶対に許されません。

今、必死に病気と闘っている方々やそのご家族、さらには経済活動ができなくてこれまでの暮らしが困難になっている方々への「温かさ」を忘れてはなりません。

私達が大切にしなければならないことは、**自分事として「考え」、「正しく行動」**することではないでしょうか。そのことが差別や偏見をなくすことにつながっていくはずです。

これから始まる学校生活の中で、ソーシャルディスタンスを守りながらも、お互いの「心」だけは寄り添いながら、**差別や偏見の向かう先が「もし自分だったら」、「もし自分の家族だったら」と自分自身の問題として考えることができれば、きっと差別や偏見を生まない正しい行動につながっていくと考えます。**

どうか機会をとらえ、「**正しく行動する**」って何をする？と学級の中で、そして自分の家族の中で話し合ってみてください。小田中学校の皆さんの研ぎ澄まされた正しい感性（気付き）と正しい行動力を信じ、「**信頼**」と「**温もり**」と「**笑顔**」にあふれた小田中学校を一緒に創る皆さんであることをおおいに期待しています。

